莇地営農組合が山口型放牧開始

周南農林事務所畜産部
平成21年10月28日

10月27日に周南市の莇地営農組合が、荒廃した水田を再生させるため、山口型放牧を約30aの農地で開始しました。
当組合は現在、集落営農法人の設立に向けて、手続きを進めており、法人化に向けた活動の第一歩として、発起人会の中で山口型放牧に取り組むことを決めました。
放牧の準備として、組合員が共同作業で周辺雑草の草刈りや電気牧柵を張りました。
なお、電気牧柵は、東部家畜保健衛生推進協議会のものを借用し、放牧牛は周南市内の畜産農家の黒毛和種の繁殖雌牛をレンタルしました。
放牧された牛２頭は、早速、放牧地のクズやススキをおいしそうに食べていました。放牧後の水田の利用方法については法人の設立と並行して、検討をしていく予定です。

現場に到着した牛

放牧地に放される牛